

# 光星ナイン堂々行進

## 開会式 49校「懸命プレー」

第98回全国高校野球選手権が幕を開けた。手権は7日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開会式が行われ、本県代表・八戸学院光星(2年ぶ)り8回目出場)など、全国の代表校49校による熱

戦が幕を開けた。朝から強い日差しが照りつけ気温30度を超える中、ファンファーレが開幕を告げた。前年度優勝校の東海大相模(神奈川)の代表校49校による熱

頭に、南から北の順番で選手を代表し、市尾崎(兵庫)の前田大輝主将が「熊本で大きな地震が起こり、苦しみや悲しみの中にいる方々も見てく

のプレーに、新たな希望をう。力を出し切ろうと改めて思った」と気持ちを高らせた。甲子園で一生懸命最後までプレーすると誓った。青森県の代表として、熊本の真阿とナインに声を掛け臨んだ。自身は春のセンバツで2度行進を経験しているが、夏は初めて「独特の雰囲気だった」とい

## 憧れの舞台「来年こそ登板」

開会式が行われた阪神甲子園球場の一塁側席では、ベンチ入りを果たせなかった八学光星の帯同メンバー18人が行進の様子を見守った。本県出身の2年生左腕・向井詩恩(しおん)投手(三沢二中出身)もその1人。県大会ではベンチ入りしたが、本大会では背番号を手にな

### 三沢二中出・向井投手

### 帯同役の傍ら決意

ことほなかった。「本当の気持ちとしてはなんでだろう」とも悔しかった。「向井投手。次の日からは自分の実力不足だ。気持ちを切り替えて練習に臨もう」と、新チームでの活躍を目指し、練習に励んだ。今大会は、ベンチ入りメンバーと行動をともにし、サポートに当たっている。初戦の市尾崎の投手は右投げのため、打撃投手の機会は少ないが、その出番が来たときは、先輩のために、

(本田海輝)